

中和田教会だより

昭和五十三年六月二十四日
戸塚区中田町三二一
中和田教会 広報委員発行

神は愛なりについて

主任司祭 宮下神父

人は自分を愛して大切にしている者と共に居ること自然に望みます。またその人のことと考へると心が休まります。信者にとつては愛である神様のこと考へて思ふだけで心は平安を覚えます。神様が今私をみて居て下さるといふ信仰をもって黙想いたしましたよう。聖書に「神は愛なり」といふエズラの御言葉として神はその御独子をお手へにするほど世を愛して下さりました。それはかれを信する人々が亡びることなく永遠の生命を得るためである。とあります(ヨハネ3:16)尚イエズラは最後の晩さんの時に御自分の死の意味を説明し復活の後にはエマオの路にて二人の弟子に現われて人々の救いの爲に苦しんで光榮のうちに復活した御自身をみせて下さいました。尚使徒は主がわれわれのために生命を捧げられたことよつてわれわれは愛と云ふことを知った。われわれもまた兄弟の爲に生命をささげなければならぬ(一ヨハネ3:16)聖パウロも「ロマ書」に「わたしたちがまだ罪人であつた時にキリストはわたしたちの爲に死んで下さつたことよつてわたしに對する御自分の愛を明かにされた。神に送つていただいた時わたしは御子の死によつて神の和解を受けたなら和解を受けたわたしは御子のいのちによつて救ひにあづかるのはなまさらのことですと云つて居ります。

神は愛であると云ふ言葉は上記の示しから出たもので今私たちが信仰のうちに此の教へをもつて居ります。死の門をくぐつて後の世に目覚めた時に此の眞理を靈魂の目でみるのはほんとに楽しみです。以上

バザーを終えて

委員長 末原秀夫

去る六月十一日多くの方々の御協力と御好意の結果として私共中和田教会のバザーが無事終了致しました。種々な事情から許るされず準備期間は極めて短時間で、しかも開催日を決定したものの梅雨入りの時期ではあり、従つて不確定なことが多く果して開催できるものやら何時までも不安を拭うことが出来ませんでした。

案ずるよりは生むが易しとは申しますが今回のバザーは決してそんな容易な所産ではありませんでした。宮下神父様はじめ壮年会婦人会四月会として信者お一人お一人の御協力戸塚教会をはじめ近隣教会の御協力、更に未信者の方々の御好意、本當に予想もしなかつた多くの方々からの善意に満ちた御支援によつて中和田教会のバザーは開催することが出来ました。結果は予想以上の収益を収め得た訳ですが、私は収益の算算ではなく今回のバザー開催に當つて関係頂いた皆様への御好意と善意に對し心から感謝の祈りを御捧げ致し、そして善意と行動の賜を改めて身に知らされた恩に居ります。

バザー収支報告

財務委員 甲斐

摘要	金額
(収入)	
バザー券 売上	300.00
人耳 婦士聖付計	245.25
寄	13.75
(支出)	
バザーボヤビ景券謝雜	13.20
印刷代	3.00
代料ス代礼費	31.40
ペネリ	17.81
器具	11.20
計	183.42
利益	569.05

摘要	金額
堂用品 祭具 ト物用品	4500.00
料理 作	781.00
アイスクリーム	4.16
牛乳	2.40
洋菓子	5.03
洋菓子	3.00
洋菓子	4.05
洋菓子	7.90
洋菓子	5.00
洋菓子	3.40
計	245.36

婦人会販売上利益

・磯子教会献堂式
七月二日(日) 午後二時より、神父様と委員一名出席の予定。
磯子区磯子町三二一八一

・敬老会の件
これまで戸塚中和田両教会合同で行われてきた敬老会は、今回それぞれ別に行う。日時は十月十五日(日)予定。

二つのお願い

(一) 信者の皆さんから教会へ電話をかける時、二つのお願いがございます。聖堂の祭壇の前に居る時、電話のベルが鳴るのをさいて急いで行って受話器を取るまでに8回か9回鳴つてからです。それで御用の方は10回位鳴るまでお待ちになって下さい。

(二) 次は留守番電話のことがおわかりにならない方が多いようですが留守の時、吹込んであるテープの音が出て、それが終つてから貴方の声を音録するように居ります。教会へ電話した時3回ベルが鳴つてからすぐに声が出たら此れは留守番電話のテープの音です。次のように吹込んであります。

「こちらはカトリック中和田教会です。唯今留守番電話が御用を承ります。ピンツと云ふ音がきこえましたら御名前と貴方の電話番号と御用件をお知らせ下さい。あとで連絡いたします。」ピンツで終ります。この向

婦人会バザー反省会

六月十八日 例会開催 出席二十八人

皆様バザーでは本當にお疲れさまでした。心配されたお天候もまずまずで、会員一同が心を合せる時が持てましたことを喜びおたいと思ひます。尚運営面で不届きの夫がありましたが、ご容赦いただき来年の礎となりますれば幸に存じます。

反省会を兼ねた反省会では次のような報告、反省がなされました。

- (1) 婦人会の会計報告、後記の通り
- (2) 各会場毎の報告と反省が夫々の担当者よりなされました。詳細は書記ノートをご覧ください。
- (3) 全体として、一時期は適當である、食堂関係には持帰り用にラップを用意されては、三食券は当日売りのものも考へては、四責任者の会合が持たれなかった。五、バザーによる地域との機会があつた。六、働らく人に対しては仕事量も適當か否か等の反省が出されました。来年への課題としてゆきたいと思ひます。以上

バザー関係御寄付のお知らせ

婦人会売上げの中には、食品材料、洋菓子食品、我對他数多くの御寄付がありました。

大テントの御寄付

武田様より大テント二張りの御寄付がありました。今回のバザーから早速活用致しております。皆様方からの数多くの御厚意を心から感謝致します。

20秒です。此のピンツが終つたらすぐに上記の御名前電話番号用件を去つて下さい。教会の方のテープに吹込まれます。時間は30秒です(めでたしの祈りを一回半、誦へる時間になります)ので相當の言葉が入ります。教会のテープの音がきこえる間は話しても無駄になります。テープのあとでは話しても即答は得られません。今のところテープに入るのは5人のうち1回位であとはテープが終了してしまふ用が足りません。留守番電話が出た時でも一通話の料金は取られますので上手にお使いになられますようお願い申し上げます。

七月先唱者 侍者

- 富田 萩原 石井
- 七浦 川原 石川
- 横倉 小野 石川
- 位田 角井 石井
- 小林 高田 石井

中和田教会だより

天啓によつてのみ知る

主任司祭 宣下神父

人は何のために生れて来たか？此の問題について人々は考えてもわからず、他人に質問しても満足な回答は得られないままに死んで行くようです。

教会の教へ天啓によりますと、神は人間に頼まれもせず相談もせず御自分の意志によつて人間をお造りになりました。聖パウロはエフェソ書(二五)に神はイエズスキリストによつて人々を御自分の子とすることを予定された」と書いてあります。神が人間の父親であると云う偉大な教へ、キリストに依つて神としての生命が授けられ神の子としての人間の生きる道の啓示を信じて居る信者はほんとに幸せです。

尚キリストは私はブドウの木であな方はその枝である、枝が幹から離れたら枯れてしまい火に焼かれてしまふ」と申されました。

神の生命キリストの生命信者の生命は一本のブドウの木にたとえられるように一つの生命です。キリストの地上で

(一) 全休の行事として行い、婦人会としては、お手伝いをするとうことで皆様に諒承していただきました。

(二) 転出等で脱会される方に、お餞別を差し上げることとし、ご諒承をいただきました。

(三) 前記脱会者への餞別に関連して婦人会としての慶弔規定をまとめてはのど意見がありました。検討して次期例会にお知らせしたいと思います。

(四) いちよう、下飯田地区委員の横倉様転出に伴い、後任として大原様がお引受け下さいます。

(五) 大掃除について、七月二十九日午後一時より行います。都合つく方は、御奉仕をお願い致します。

(六) 甲斐塚より磯子教会建設に際してのご協力に對して、婦人会長様より、お礼のお言葉をいただいた旨の伝達がございました。

(七) 八月の例会は休会と致します。

暑い日が続きます。どうかお気を夏休みなお過ごし下さいませ。

以上

昭和三十二年七月二十二日
戸塚区中田町二七〇一
中和田教会 広報委員発行

の御生活とみ言葉とよく学びキリストに似た生き方をしして永遠の生命に入るように努力いたしましょう。

委員会 報告

(一) 宮城沖地震によるカトリック教会、修道院等諸関係施設の被害に對するお見舞の件

六月二十六日付でカリタスジマパシヤ本部より仙台教区の教会諸施設の被害状況報告があり、被害額約三億円と推定され、これに對する援助の要請がありました。中和田教会としてはお見舞金十万円をお出資することに決定しました。

募金及び献納の中へ準備致しますが、募金の方は皆様方の御理解ある協力を重ねたい致します。

(二) 夏季学校について
福島委員より夏季学校開催スケジュールについて説明がありました。決定事項は左記の通りです。

子供達がつとも楽しんでいける夏季学校が次のように中和田教会で行われます。今年は今員二泊

することにになりました。一諸に寝起きすることによつて強い連体感と、祈りが体験されることと思えます。今年はお家人員が四十一名と多く、又二泊するため大勢の方又にお手伝いをお願い致します。お聖堂入口の所に当番表を貼り出しておきますので都合のよい所へ記入して下さい。よろしくおねがい致します。

日程

八月三日(水) 日帰り九時〜四時 午後プール
八月四日(木) 泊り 九時〜午後遠足
八月五日(金) 泊り 六時起床(福袋国大生) 午後人形劇
八月六日(土) 泊り 六時起床(六時起床) 十時御ミサ後解散
費用は一人三〇〇〇円です。

婦人会だより

七月例会が七月十六日に二十六名の方々の御出席を得て、開催されました。次の事項が討議決定されましたので御報告致します。

(一) 献金会について
十月十五日、中和田教会のめで、教会

項目	金額	金額	金額	金額
入金	3,750	5,000	0,000	0,000
入献	4,200	2,000	0,000	0,000
収定	2,000	1,700	0,000	0,000
月ミ特補	5,600	9,000	5,000	1,200
前月	7,800	8,800	0,000	0,000
合計	9,700	0,000	0,000	0,000
支出	4,200	2,800	6,400	4,500
天繰	5,400	7,400	5,500	5,500

八月 ことよみ

六日(日) 主の麦谷(年間オ十八週)
十三日(日) 年間オ十九主日
十五日(火) 聖母の被昇天
二十日(日) 年間オ二十主日
二十七日(日) 年間オ二十一主日

八月 先唱者 侍者

六日(日) 小野寺 萩原(四) 鈴木
十三日(日) 富田 小林(四) 小林(五)
二十日(日) 七浦 山本 望月
二十七日(日) 榎倉 萩原(四) 石井(五)

歌がきこえるよう
に一生かかるといふ

婦人会だより
八月の例会は休会と致します。

中和田教会だより

敬老の日によせて

主任司祭 宮下神父

イエズス様は為子たちに「全世界に出て行きすべての者に福音を宣べた(なさい)信じて洗礼を受けた者は救われ、信じない者は亡びます」(マタイ福音書)と。また聖パウロは「言葉葉を宣べたえなさい時が良くて悪くてもしつかりやりなさい」(コリント書)と。

しばらく前に洗礼を受けたお婆さんが私のところは娘も孫も信者ですが私は今までほんやりして居ました。今洗礼を受けて、こんなに良い教へになせ早く入らなかつたかの、くやまれますが、今は感謝で一杯ですと云つて居りました。カトリック聖理には罪を痛悔してキリストのみ教へに随ふと書いてありますが、一般の人には罪と云ふことは良くわかりませんので神様の子供となるという事を強調した方が良いでしょうと思われす。神様の子供となると云ふ心の中は痛悔は含まれて居りますから。

賛同願える方から実施されますよう協力おねがいします。

婦人会だより

もの思ふ秋となりました。一ヶ月の夏休みの後、九月度例会が十七日開催されましたので御報告申し上げます。出席二十名。

神父様よりホランテアについての講話と、現在当教会で争うけて居ります内容についての御説明をいただきました。

●ホランテアの仕事

(1) 聖母の園 毎月オニ木曜九時三十分より、老人ホームのお手伝、シソウ交換など。その前のみ、午後のみ、一日いづれでも可。

(2) 白百合愛児園の幼児服の仕立、裁断して下さいますので、御自宅でお仕立いたぐもの。照会は花坂一様まで。

●戸塚教会のバザーに御協力教したいと思ひます。

●バザー券、食券を九時ミサ後販売しておりますので、お願い申し上げます。

●毎月オニ木曜の奉獻を婦人会で担当することにいたしました。

26号 昭和五十三年九月二十三日
戸塚区中野町二七〇-一
中和田教会広報委員發行

十月十五日(日)教会の敬老の日には二人のお年寄り一人の壮年が洗礼を受けた事です。年を取つて子供を育て上げ此の世では仕事が終わった者にとつて残つて居る日々を信仰に依る自己完成の爲に、つとめることはまことに恵まれた日々です。

忙しくてよく祈る事の出来ない者に代つて感謝の祈りとすべの人々の救いの爲に恵みを祈り求める生活はほんとに幸な生き方に歩む者でしょう。

教会債借入金金の返済の

五年前戸塚中和田西教会建設の際建設資金として皆様からお借りしました教会債借入金金の返済を本年十月より行うことになりました。

永い間、大切な資金を無利子でお貸し下さいましたこと心から感謝申し上げます。

幸い返済資金も皆様のご協

●敬老会は十月十五日十一時ミサ後教会の行事として行うこととし、婦人会は準備のお手伝を担当することになりました。

●ピクニックの件、十一月初めごろ、大倉園を予定してあります。十月の例会にて決定したいと思ひます。

●規約作成の件、種々御意見を伺いました。今年中を目標に、更に煮つめて参りたいと思ひます。

●十月度例会の件、例会当日が敬老会に当りますのでこの月に限り、オニ木曜日に変更するかも知れず、いづれ電話連絡にて御通知致します。

十月のミサ

二十一日(日) 布教の日
中和田教会 敬老会
先唱者と侍者

一日	七浦	萩原恒	石井信
八日	小林	小林正	石川元
十五日	位田	山本	下山
二十一日	小林	萩原賢	石井章
二十八日	小野奇	小野奇	小林繁

力によりは、計画通り必要額を積み立てることができましたので、お約束通り十二月から返済致します。

●返済の方法は昭和五十三年十月から昭和五十四年五月までの返済期日の教会債について、本年十二月十七日(土)日、三十一日の三日の日曜日に銀行小切手で返済します。詳細は別途お知らせします。

財務委員 甲斐至信

九月委員会報告

一、敬老会開催について
十月十五日(日)十一時のミサ後中和田教会集金室にて開催します。

二、戸塚教会バザーへの協力
十月二十一日(日)戸塚教会バザーが催されます。尚バザー券の発売を中和田教会においても引受けてありますので、皆様方のご協力をお願いします。

三、教会上履きについて
上履はついで今後、各自専用のスリッパを各個人で準備して行くようにもつていきたいと思ひます。

七 月 度 (円)

入金	金	208,150
献金	金	59,470
献金	金	4,000
助収	金	50,000
計	金	321,620
前月	金	547,455
合	金	869,075
支出	金	259,033
繰越	金	610,042

八 月 度 (円)

入金	金	145,350
献金	金	54,018
献金	金	50,000
助収	金	2,280
計	金	254,416
前月	金	610,042
合	金	864,458
支出	金	230,147
繰越	金	634,311

中和田教会だより

死者の霊魂の月

主任司祭 宮下神父

教会は十一月二日を死者の記念日としてすべての死者のために祈り、尚十一月を練獄の霊魂の月として死者の冥福を祈ることをすすめて居ります。死者を想い冥福を祈ること人間の自然の情であります。

旧約聖書にはマカベ後書十三章にこのことが書いてあり、日本では盆と春秋のお彼岸に死者のまつりを行うことは皆様が御存知でしょう。キリストは最後の晩さんの席でたういに水を入れ弟子達の足を洗つてから「私はあなたらしい掙を与へます。互に愛し合なさい。人々はあなたを愛したが、あなたに愛し合うのをみて私の弟子であることを認めるでしよう」と言った他のところで「自分でしてもらいたいように人にもしてやりなさい」といわれました。このキリスト

昭和三十五年十月二十一日
戸塚区中田町二七〇一
中和田教会 広報委員会発行

の命令は死者にまで及ぼさなければなりません。練獄に居る霊魂は自分では何も出来ず手へられた償いを果すために苦しんで居り、私たちの助けを持って居ります。

地上に居る私達は祈りと苦業善業の功徳を贈つて練獄の霊魂を授けることが出来ます。忙がしうのために忘れて居た亡った親族縁者のことを信者でも未信者でも思い出し私達の助けを持って居ると思つて私達がしてあげたいように彼等のために助けの手をさしのべましょう。

死者のためにミサを献げ、ロサリオの祈り、人に対する親切善業、苦業の功徳を練獄の霊魂に贈りましょう。もし私達の望む者がもう救われて天国へ移つて居たら、私達の祈り、其の他の功徳はお祈りをしてくる人のいない霊魂の方へ廻されますので、思いがけ

新教皇様

ヨハネ・パウロ二世がえうげれおされた。
豊かなお恵みを祈りましょう。

十月 委員会報告

一、十月十五日(日)敬老会が催され、東原委員長、歓迎の挨拶と神父様のおはなしがあり、午後一時半まで楽しいひとときを過ごした。
一、中和田教会火災保険払込み四百八十円

婦人会 だより

おちばがふかまりゆく頃となつて参りました。
*十月の例会はオニ日曜日に行われ、遠足について話し合われまして左記の様に決まりましたのでお知らせ致します

日時 十一月十四日(日)火曜日
場所 横浜本牧美術館を講堂
そのあと秋の三溪園を散策
し、そこで書画にします
お弁当と飲物を御持参下さい。

戸塚駅 九時三十分 集合

ない人助けに決して無駄にはなりません。以上

祝洗礼

十月十五日(日)十一時ミサに於いて左記の方々が受洗されました。

ヨゼフ 宮川 登様
パウロ 吉田源三様 岡津町
モニカ 吉田照子様

○荒井司教様の御聖名の祝日に(十月十八日)左記の様に聖的花束をお送りしました

ミサ聖祭拜聴	七十回
聖体拝領	七十回
聖体訪問	百二回
ロザリオ	百十回
司祭のための祈り	百三十回
犠牲愛の實行	二十六回
その他の祈り	九十二回

布教の日

十月二十二日(日)は「布教の日」に当っております。皆様も御存知の

○桜木町駅よりバス三溪園入口にて下車、徒歩三分

尚入館料・入園料は婦人会で負担させて頂きます。書画後現地に解散いたします。
参加される方は教会の掲示板申込用紙に御記入下さい。メチは二十九日(日)迄にお願致します。
皆様の参加を希望して居ります。
*九月十五日(日)教会の敬老会が催されました。
十一時のミサに於いて吉田様御夫妻の洗礼式が行われ、その後集會室にて神父様を囲み会食のひとときをたのしく過ごされました。準備のためいろいろと御協力下さいましてありがとうございました。以上

○十月はロザリオの月です。御存知の様に九時ミサの前にロザリオ一環を誦して居ります。

○十一月は死者の月です。親族縁者の御冥福のために御ミサを捧げましょう。

○七五三のお祝 十一月十二日(日)九時のミサに於いて行います。

○希望される方は御申込下さい。宮城沖地震見舞金、十万円送りしました。御協力ありがとうございます。

ように当日は年に一度のローマ聖座からの要請によりキリストの救いを一人でも多くの人々に伝えるため全世界の教会が一致して特別に祈りと犠牲、献金を捧げる日であります。この「布教の日」をより多くの人々に理解していただき、キリストに結ばれ教会に結ばれている私達キリスト者一人一人があらゆる手段を尽し、大いなる熱心をもって福音宣教のために努力しなければならぬことは今は亡き先の教皇パウロ六世によって出された使徒的勧告「福音宣教の中でもあらためて述べられております。

現代は確かに宣教活動にとつてさまざまな意味で困難な時代であります。しかし、こうした時代にこそキリスト者一人一人が信仰の中に強く生き、教会の中に深く一致し、人々にキリストの救いを伝えるため多くの祈りと犠牲を捧げなければなりません。

教皇様の意向により、より多くの人が、宣教のために常に祈り、犠牲を捧げて下さいますように、皆様のご協力をお願い申し上げます。以上

中和田教会だより

昭和五十二年十一月二十五日
戸塚区中田町二七〇一
中和田教会 広報委員発行

イエズス様の「さばき」

主任司祭 宮下 神父

イエズス様はマテオの章31以下にたとえをもつて教えて下さいました。人の子(イエズス様)は光栄に輝いて天使たちを皆従えて来る時その光栄の座に着きすべての民族がその前に集められると彼らと右と左に分ける。そこで王(イエズス)は右側にいる人たちに云ふ「お父(天の神様)に祝福された人ぞ。天地創造の時からお前たちのために用意されている国を受け継ぎなさい。お前たちはわたし(イエズス様)が飢えていた時に食へさせ旅をして困っていた時に泊めてくれ着るのがなかった時に着せ、病気の時に見舞い、刑務所に居た時に 訪ねてくれたのだ」とすると正しい人たちが王に答へる。「王はいつ私達を主にさうしてあげたでしようか」と王は答へる。「はつきり云つておくがわたしは兄弟であるこの最も小さい一人にわたしのはわたしにこられたことになる」然し左側にいる人々は「もうわれた者ともよ、こゝを立ち去り悪魔とその手下のために用意してある永遠の火に入れ、右側の人とは反対にお前

たちは私に何もしてくれなかったからだとすると彼らは「いつ私たちは王(イエズス様)に対してあげなかつたでしようか」と云うと王は此の最も小さい者の一人にしてくれなかつたのは私(イエズス様)にしてくれなかつたことになる」と。こうして左側の者は永遠の罰を受け、右側の正しい人たちは永遠の生命に入るのである。

これは公審判の様様を表はしたもので、愛の実行が私たちの心と救いと決定するということやさしいたとえです。誰にもよくおわかりになるでしょう。人々に対する愛の行いが直接イエズス様にしてあげたということであり、そのために天国へ入ることが出来る。人々には自分勝手に自己主義に振舞い人々に同情しなかつた行いがイエズス様にしてあげなかつたといふことであるために地獄行を宣告されるということとです。

レジオナリエの指導者目に会員はすべて「マリア様がイエズス様のお世話をされるように、すべての人がイエズス様であると思つてマリア様の心をもつて親切にふるまうようにすすめて居ります」とい

婦人会だより

十一月十九日例会が九時ミサ后行われしました。

婦人会々々(楽)について話し合われしました。本年度中を目標に尚、検討を重ねますので会則(会則)を掲示致しました。ご意見の上、ご意見がございましたら役員まで不用かせいたしたいと思います。

○去る十一月十四日に行われしました遠足には二十一名の方々の御参加をいたし、ありがとうございました。

前夜祭の小雨も目的地に着く頃にはやみ、除々にかいふくして良い日和にめぐまれました。本牧美術館では横浜の歴史を物語るめずらしい数々の美術画を堪能しました。

小学生的遠足の様に不丹当おやつと、フーリとおもかた、もちものもかるくなり、落葉をふきしめての三溪園での散策と、又満花展のウツと展示場に行く秋を心残りなく過せました。一日でした。恙なく終了致しましたことを感謝と共に御報告申し上げます。

は洗礼を受けたすべての信者に神様が望みになることにより公審判のたとえを心にためてより良く愛の実行が出来ますように祈りなごう努力いたしませう。

祝

宮下神父様の御霊名のお祝日
九時ミサ後お祝い致します

一粒会から

一粒会に対する日頃の御協力ありがとうございました。一粒会の目的は邦人司祭の召命と育成のために祈りと献金をもつて教区のために協力することにあります。毎年一歩一歩と充実してきており、皆様の御理解に深く感謝致しております。ちなみ、現在中和田教会の会員数は六十七名で年間の献金総額も、五〇年の五二四五〇円、五一年の一七三〇四〇円、五二年が二〇六九二四円というように段々と向上してきています。これらのお金は、主に神学生養成援助費、小神学校設備費、召命養成会援助金、司祭敬老費、その他にあつて、大

十二月のくまみ

- 十一月三日(日) 待降節(オ一)五日、邦人司祭育成の献金
- 八日(金) 無原罪の聖マリア
- 十日(日) 待降節(オ二)五日、邦人司祭養成日
- 十七日(日) 待降節(オ三)五日、三西日(日) 待降節(オ四)五日
- 二十三日(日) 主の降誕
- 二十五日(日) 九時一回だけのミサです。
- 三十一日(日) 聖夜祭の主日

お知らせ 国宝ロシアイコンの世界 奇蹟の聖像画展

11月11日(土)~12月17日(日)

西武美術館
(西武百貨店 池袋店 12階)

中和田教会だより

昭和五十三年十二月二十三日
戸塚区中田町三三〇一
中和田教会 広報委員発行

クリスマス

(キリスト者のあかし)

主任司祭

宮下神父

昔、ユデアの国ベトレヘムという町の近くで野宿して羊の番をして居た羊かいのところに、真夜中、天の使いがあらわれまして、羊かいたちが非常に恐れて居ると天の使いはおされることばありませぬ。今日ダビデの町に救主(メシヤ)が御生れになりました。布に包まれてかいた桶に寝かされて居る赤坊をみるでしょう。これは、主キリストですと教へて下さいました。羊かいたちは急いで馬小屋へ行つて天使のいった通りのことを見て大変喜んでそばに居つたマリヤ様とヨゼフ様に天使から教へられたことを知らせました。マリヤ様はこれからの不思議なことを心の中で考へ合せて居つたとルカ福音書にあります。

信徒総会について

一月二十八日(日)九時ミサのあと

総会開催

- 一 予算決算について
- 一 建設費の報告 他
- 是非 御出席をお願い致します。(この日は十一時のミサはございません)

壮年会 会合日の変更について

従来まで壮年会の会合日を奇数月の最終日曜日と定めておりましたが、来年一月より奇数月の才一日(昨日)九時ミサのあとに会合開催とすることを変更致します。

次回(一月七日)日の予定です。

婦人会 だより

師走に入りましてまた一年あつというまに今年も終わろうとしていきます。十二月の例会は才三日(昨日)九時ミサ后行われました。

クリスマスはこの馬小屋の中で

お生まれになつたイエズス様の御誕生をお祝する日です。西洋(キリスト教)が伝つてから人々はイエズス様がお生れになつた年を紀元元年とするようになった。今は世界中で西暦を使うようになった。今年(西暦一九七八年)になります。

イエズス様は私達が神の子となり天国へ入ることが出来るように道を開いて下さいました。

クリスマスという言葉を使つても意味を知らないお友達があつたら右記のことを知らせてあげましょう。そして私達の心と体の中にイエズス様がお住いになつて私達がイエズス様に似た良い神の子となるようにお恵をお願ひしながらつとめましょう。

イエズス様は御死去になられる前に『お互に愛し合ひなさい。これは私の新しいおきてです』と云われました。人に親切にする。と気分の悪

左記の様なことについて話し合われたい。

(1) 婦人会の新年会を一月十四日

(日)九時ミサ后に行います。申込は一月七日(日)まで用紙を貼り出します。名前をお書き込み下さい。会費(千円)は当日いただきます。

(2) 来年度の清掃表を製作致します。

たいと思っております。変更がなりましたらお申し出下さい。

(3) 来年度より才三日(昨日)の九時

ミサの才一朗読を婦人会が担当することになりました。よろしくお願ひいたします。

(4) 給湯器の件は来年度に

検討することになりました。会則の件については会則(案)を御承認いただきまして有り。御承知いたしました。印刷が来次才お手許にお配りしたいと思います。

いつでも態度で他人に特に家族の者に親切にすることはキリストを心身のうちにもつて居る者のあかしとなります。



主は飼いはおけのなかに

キリストは本性として神であつたが神と等しいことを固執しようとせず、かえつて奴隷の姿をとって人間に似たものとなつて自分自身を無とされた。

フィリップ 267

お知らせ

一月一日(月)神の母マリヤの祝日
ミサ聖祭 午前十時
(中和田教会の守護の聖人)

家庭会等 横のつながりも密になり聖書への親しみも深まり皆仲良くいろいろの教会行事に参加出来たことを感謝致して居ります。

一月のくま

- 一月一日 神の母聖マリヤ(祭日)
- 一月七日 主の御公現
- 一月十五日 カトリック児童福祉の日

(おねがい)

中和田教会だよりを担当致しまして一年を迎えますが、未熟ながらも、お返しをさせていただきます。教会だよりの内容を充実させていくため、出来るだけ皆様方の意見や希望を掲載していきたいと思っております。ご協力いただける方は原稿をお寄せ下さい。

毎月二十日に締切り、併成にかかるとありますので御協力をお願い致します。

担当 七浦